

若洲 GL は「狭い」「巨額の改造費」「間に合わない」
は、すべて大ウソ、大間違い

参議院議員 松沢成文

- ◆ **若洲 GL は、近隣都有地・区有地を含めれば、五輪ゴルフ会場として十分な面積がある。**
 - ・ コース面積だけを比べると若洲 GL の方が広い。仮設ギャラリースタンド、収容ギャラリー数などの収容力は十分(霞が関 CC 東コース 6.1ha、若洲 GL 7.8ha)
 - ・ コースの距離も 6,906 ヤードを 7,206 ヤード程度まで延長可能。周辺道路と中央の縦貫道路を利用できるので、ゴルフ場を休業せずに工事可能。
 - ・ 練習場(300 ヤード)、駐車場、メディア用地、ギャラリープラザなどの付帯施設は、近隣都有地・区有地を使用すれば十分に対応可能。

- ◆ **改修工事は専門の建設事業者が概算したところ、総額 13.8 億円で実現できる。**
 - ・ 内訳はゴルフ場改修 4.9 億円、付帯施設整備費 8.9 億円、合わせて 13.8 億円。
 - ・ コース場改修費 4.9 億円も、若洲 GL の年間収益 2~3 億円ならば、数年で回収できる。
 - ・ JGA のいう「若洲 GL では埋め立てなど大改造が必要で、1,000 億円かかる」というのは大ウソ。

- ◆ **以上のような改修工事ならば、建設事業者が検討したところ、決定後 1 年以内に完了できるので、東京五輪に十分間に合う。**

- ◆ **したがって、「面積」「コスト」「工期」のすべての面で、若洲 GL では不可能というのは大間違い。東京都所有で選手村に至近のパブリックコース、若洲 GL で充分対応できる。**